



無言館の表紙絵画の作者

山之井龍朗（やまのい・たつろう）

1920年7月25日、神奈川県横浜市に二男一女の長男として生まれる。父は洋画家。幼い頃から父の仕事を手伝う。市立共進小学校卒業後、父に本格的に絵を学ぶ。41年に応召し、船舶高射砲兵としてフィリピン・ルソン島・ジャワ作戦に参加。シンガポール、サイゴン、高雄と転戦のち日本へ一時帰国するが再応召。45年5月9日、フィリピン・ルソン島バギオにて戦死。享年24歳。

無言館とは

太平洋戦争で志半ばで戦死した画学生80余名、600余点の遺作、遺品を収録する。1977年から約20年にわたり、画家野見山晁治氏と窪島誠一郎氏が全国各地で収集、1997年、全国38000人の篤志家の寄付と上田市の土地提供により開館。

住所：長野県上田市古安曾字山王山3462

JRR長野新幹線上田駅より上田交通別所線塩田町駅下車、バス10分。年中無休

電話：0268-37-1650

館主窪島誠一郎氏のご好意により、本誌では表紙に同館所蔵の作品写真を使わせて頂いています。（編集部）

■無言館は、まだ展示されていない画学生の遺作をすべて公開するため、07年秋に第2展示館を建設することになりました。そこで同館に併設される付属図書館の書棚のオーナーになってくれる人を現在募集中です。寄付した人・団体すべての名前が書棚に刻まれます。

○個人・一口 1万円 ○法人や団体・一口 20万円

「振込み先」

○郵便振替 00550151959952

「オリーブの読書館」建設の会 代表 窪島誠一郎

○銀行 八十二銀行塩田支店 普通口座273290

「オリーブの読書館」建設の会 代表 窪島誠一郎



■本誌前号で瀬川満夫さんが紹介した「九条せんべい」の入手法 製造発売元の小萩堂に注文すると、注文の品と振替用紙が届きます。振替用紙には製品の価格と送料が書かれています。

その用紙を使ってご送金下さい。注文は、電話またはFAXでお願いします。

「九条せんべい」日本語と英語で九条を記したせんべいが各5枚ずつ、計10枚で1箱になっています。

1箱 500円（送料別）  
10箱以上は1箱 350円

（送料別）

製造発売元

仙台せんべい本舗・小萩堂

〒980-0004

仙台市青葉区宮町3-8-10

電話/FAX

022-222-3569

編集前記

今号は100号です。当会にとって一つの大きな節目です。昨年の臨時国会では、「改正」教育基本法と防衛庁「省」格上げ関連法案が成立させられました。新基本法は早くも昨年末施行され、本年1月9日、政府の軍事部門は「防衛省」に昇格、海外派兵は「本来任務」になりました。そしてそのような趨勢を追い風に、安倍首相は年頭、「任期内の改憲」を宣言しました。

憂慮すべき事態にどう対応するかが誰にも問われています。それを強く意識して100号を編集しました。18世紀の英国の詩人・批評家、サミュエル・ジョンソンは「愛国主義は、無頼漢たちの最後の避難所である」という箴言を残しています。

（編集部）

